

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 令和元年7月31日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市立緑の休暇村センター
指定管理者の名称	一般社団法人 青根振興協議会
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市立緑の休暇村センター条例
施設の設置目的	青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場所を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。
施設概要	所在地: 緑区青根807番地2 開館年度: 昭和55年6月8日 管理面積: 12,434.00㎡ 延床面積: 762.35㎡ 構造: 鉄骨造地上2階、木造 主な施設: 宿泊室6室、コテージ3棟、テニスコート2面、食堂
施設所管課の名称	津久井地域経済課

2 管理実績							
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数合計(人)	4,298	4,768	5,169	4,836	4,590	4,322	
利用料金合計(円)	21,148,730	19,327,057	20,711,722	17,871,221	16,556,138	16,222,447	
()							
()							
()							
()							

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	施設利用者数の増加(対象施設: 客室、コテージ、テニスコート、食堂)
指標式と指標の説明	施設の年間利用者数 / 12ヶ月 単位: 人 目標件数は平成22年度から平成24年度の3年間の利用件数(1ヶ月当り)の平均値の15%増とする。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値(単位)	453	440	440	440	440	440	
実績値(単位)	358	397	431	403	383	360	
達成度(%)	79.0%	90.2%	98.0%	91.6%	87.0%	81.8%	

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	C	利用者数の減少は、平成30年10月の台風24号の影響による国道413号の通行止めが影響していると思われる。 自然豊かな地にある宿泊者施設の魅力を、より周知することに努め、利用者が増加する工夫に取り組んでいただきたい。
事業・業務の履行状況	A	地域活性化委員会に参画イベントに協力することで、施設のPRとともに地域の活性化に寄与している。 修繕箇所の計画化、宣伝広報、事業企画などにより、安定的な施設運営のための工夫に努めていただきたい。
利用者満足度の向上度	B	総合的な評価では、「満足」、「やや満足」、「普通」で9割以上の回答を得ており、適切なサービスと施設の維持管理がされていると伺える。
財務状況の適正性	S	利用者数は、前年比で減少したものの、食事利用の増加により、収入の増加につながった。 全般的な経費の見直しを図ったことにより支出が減少し、収益が改善されている。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における「評価」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「」または「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「」または「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「」である。
- C: 「」と「」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「」と「」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における「3 指定管理者の団体本体の経営状況」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っており(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が否めない中、1年間を通し、堅実な施設運営、継続したサービスにより、リピーターを確保しているが、宿泊者が減少していることから、新規利用者へのPRに努められたい。 ・施設の修繕については、安全面を優先し、部分的な修繕は計画的な対応を検討する。 ・食事利用の収益増加があったが、今後も、ホームページ、チラシなどによりPRに努め収益の増加を図られたい。 ・ホームページの情報は、的確なPRに努められていた。今後は、四季に応じて地域の自然の見どころなどを掲載し、宿泊利用者の増加を図られたい。
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成31年3月18日(月)
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・動画やリマインダーを用い、タイムリーな情報提供をより充実してほしい。 ・リピーターや小規模グループへのアプローチの工夫に務められたい。 ・満足度調査の回答数を増やし、改善してほしい。 ・SNSを利用し、コストを掛けずに効率的にPRしてほしい。